

コンテンツマーケティングツール「MIERUCA」、 自社サイトの順位下落を監視し、 自動レポートする機能をリリース

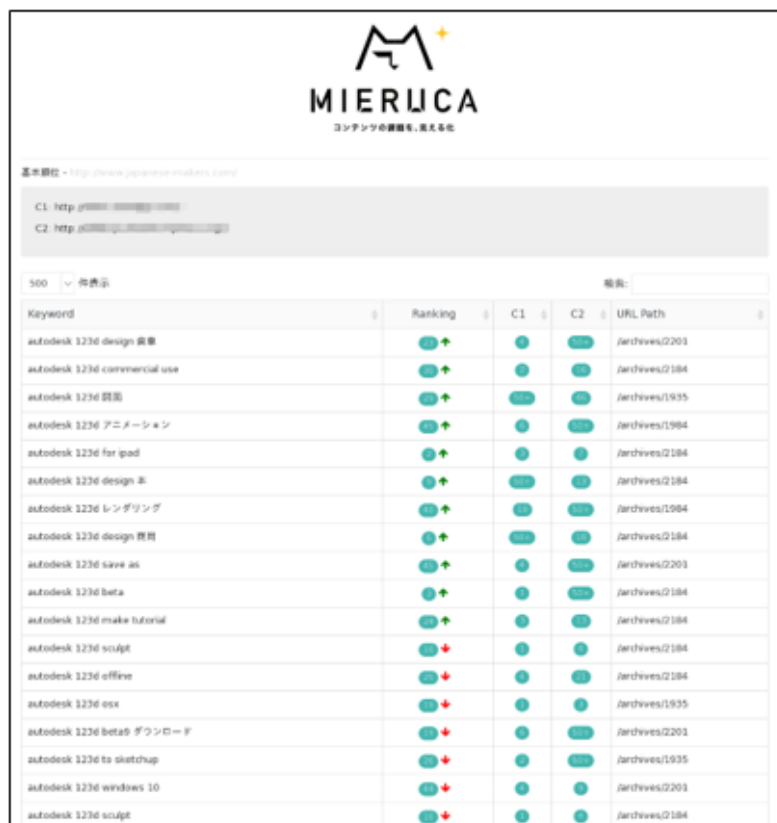
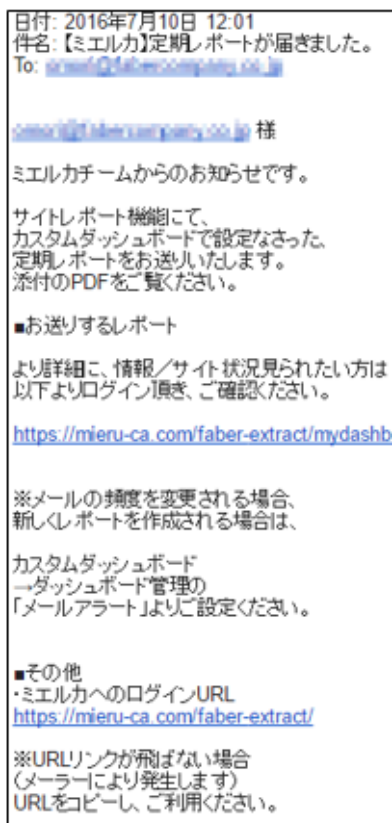
株式会社 Faber Company（ファベルカンパニー／本社：東京都港区、取締役社長 COO：稲次正樹）が提供するコンテンツ制作およびマーケティング支援ツール「MIERUCA（ミエルカ）」は2016年7月19日、カスタムダッシュボード機能をアップデートしました。これにより、自社コンテンツのファインダビリティスコアや、競合サイトとのキーワードの差分の推移など、任意のデータを自動でPDF化し、週次／月次でメール受信ができるようになりました。

■機能アップデートの背景

オウンドメディアなどの浸透に伴い、コンテンツマーケティング担当者のデータ集計・管理に対する負荷は増加しています。アクセス解析ツールや検索順位チェックツールの管理画面から手動でデータを抽出し、表計算ソフトで独自管理している担当者も多いのが現状です。しかしこれでは、重要なデータの定点観測が困難であり、突発的な順位の上昇・下落を見落として、対策が遅れてしまうこともありました。

■今回のアップデートで可能になること

ミエルカはこれまでもコンテンツ解析データの一元管理と可視化を可能にしてきましたが、今回のアップデートでは、①順位の変動をメールでアラートする ②メール配信によって社内での定期レポートを代行する、の2点を可能にしました。これにより、突発的な変動に対応するまでの時間や、手動でレポートを作成して社内共有する人的コストを削減することができます。



キーワードの順位など、あらかじめ設定したデータの最新版をPDFでメールに添付。

■MIERUCA（ミエルカ）とは

<https://www.fabercompany.co.jp/service/mieruca/>

人工知能（AI）の一分野である「自然言語処理」を応用し、Web で上位検索されやすい記事づくりを的確に支援するコンテンツマーケティングツール。クラウド上で「自社サイトの改善すべきページの抽出」「ライバルサイトとの差異の発掘」などが簡単にできる。株式会社 Faber Company が 10 年以上経験を積んだコンテンツマーケティングのノウハウをシステム化した。開発メンバーには、ウェブアナリストで当社 CAO（Chief Analytics Officer）・小川卓に加え、国立大学豊橋技術科学大学情報・知能工学系の吉田光男助教、明治大学理工学部情報科学科・高木友博教授、東京大学情報基盤センター・中川裕志教授ら、人工知能の権威が加わる。ソフトウェア特許を申請中。

■Faber Company（ファベルカンパニー）とは

<https://www.fabercompany.co.jp/>

「日本の職人技と先端テクノロジーの融合」をコンセプトに、企業の Web マーケティングを支援。2005 年の創業以来、クライアント企業の SEO 施策、PPC（リスティング）広告運用、コンテンツ制作事業、検索エンジン集客に関するセミナー事業を展開している。2013 年から Web マーケティングツール「ミエルカ」を自社開発。国立大学法人豊橋技術科学大学との共同研究を皮切りに、明治大学、東京大学との産学連携で人工知能の Web マーケティング分野への応用研究に力を注いでいる。

会社名： 株式会社 Faber Company
所在地： 〒107-0052 東京都港区赤坂 2-14-4 森崎ビル 4 階
代表者： 取締役社長 COO： 稲次正樹
資本金： 1 億円
設立： 2005 年 10 月 24 日
事業内容： MIERUCA（ミエルカ）開発・販売、コンサルティング事業、スクール事業、サイト売買事業
URL： <https://www.fabercompany.co.jp/>

＜本件に関するお問い合わせ先＞

株式会社 Faber Company（ファベルカンパニー） 担当： 井田・平野
TEL： 03-5545-5230 FAX： 03-5545-5231 pr@fabercompany.co.jp